

議会運営委員会報告

「議会活性化の取り組みについて」その4

「第2回 井戸ばた会議」 町民と議会との対話」 を開催

6月3日にハビネスにて「第2回 井戸ばた会議」を開催しました。

2月に開催した第1回に続き、定例会前に住民のみなさんの声を聴き、審議・議決にかかすことが狙いです。



親子での参加もあり、町民17人、議員8人、事務局2人の総勢27人が、5つのグループに分かれ、議員・事務局が進行役・書記役を務め、途中で1回席替えを行いながら対話を行いました。

農繁期にも関わらず、農業関係者の参加が多かったのが特長です。

前回同様、留意点と井戸ばたでのマナー(右下表)を意識していただくよう、最初にお願いたしました。

留意点は「町民のみなさんの声には多様性があり、真逆のご意見を同時に

お聴きする場合もあること等から、必ずしもこの場で拝聴した声が議会で反映されるわけではない」ということです。
テーマについては、事前にお知らせしていたとおり、3月定例会で審議した事項から3つを軸にしました。

【井戸ばたでのマナー】

- ◇対等な立場で参加する
- ◇発言と人格は分けて考える
- ◇自分の考えに固執しない
- ◇自分の考えを率直に話す
- ◇人の意見に耳を傾ける
- ◇全員が話せるように配慮を

テーマ① 宿泊研修交流施設について

【意見等】

3月定例会での提案内容が取り下げになって、議会だよりも掲載されていないこともあり、昨年末以降の状況が町民に伝わっていないことを痛感しました。不足した情報の中で、採算性、将来世代への負担の先送り、ヒートポンプの必要性、他の町内宿泊施設との競合、管理・運営・人材確保の問題、ビジョンが不明確、といった点を不安視する声がありました。

テーマ② 住宅政策について

【意見等】

民間だと家賃が高くなるのでは、事業者への補助は必要か、上名寄集住化(2か所)は必要か、一の橋集住化の検証を踏まえての検討が必要、空き家の活用が必要、独居など高齢者の課題解決型の施設が必要、などの意見がありました。

テーマ③ 議会活性化について

【意見等】

ナイター議会・土日議会の実現、各審議会への議員の配置、議員の品性、職員に与える影響・職員を大事に、といった提案をいただきました。

その他

【意見等】

まちおこしセンターに関連して、そもそも「にぎわい」とは何なのか、建設中の施設で想像できない、井



戸ばた会議に若い人が少ない、次の世代の人もどんどん来てもらいたい、など書ききれないほどの貴重で多様なご意見をいただきました。

引き続き町民のみなさんとの対話を重視し、さらには一歩踏み込んで「出かける議会」という取り組みを進めたいと考えています。ご協力のほどよろしくお願いたします。